

# 相続の家族会議 永久保存版 これで円満解決 完全マニュアル

切り出すのは親か子か？ 司会役は兄か弟か？ 子の配偶者は出席する？しない？

紀州のドンファン 現地取材スクープ 結婚3か月

告別式

資産50億円の艶福家「怪死」55歳下モデル妻の全告白

スポーツ界「あげまん女王」グランプリ 死ぬまで死ぬほど SEX女の五感と興奮 〇〇な関係

温泉で出会った女 梨木まい



# ポスト

ポスト読者が選んだ 史上最強のボクサー

ベスト 20

2018 Jun. 6.15 定価430円

## 死ぬよりつらい 後遺症

医師は「治療が終わった後の苦しさ」を教えてください

70億円を生む「株式会社日本大学」の謎

日本大学の解剖 第2弾

第2弾

田中理事長が内田前監督を切れない事情

中曽根大勲 日米関係、スキャンダル、後継者、憲法「宰相の器」かくも違つ

安倍へ百寿の苦言

がん 脳・心筋梗塞 糖尿病 人工関節

人生100年時代の生き方大研究

## 65歳時点の勝ち組負け組

あなたは「生きがい」って何ですか

50年目の同窓会があつたら...

幸福の分岐点って何だろうか？

首都直下型地震の前兆が次々と！  
相模川「鮎の大量遡上」、亀戸天神「藤の早咲き」



新喜劇マドンナ 高橋靖子 51歳のヌード



袋とじ 人気女優乱れ脱ぎ 新・七人の美熟女



お尻 男たちが大好きな美しい

大反響 やってはいけない歯科治療 銀歯の下で歯根が折れる！

# 「遺症」の真実を教えてはくれない

## がん 脳・心筋梗塞

## 糖尿病

## 人工関節

# 後「 しいのか？」



普段意識することのない、健康のありがたさを痛感するのは病気を患った時だ。生死を彷徨う大病ならなおのこと、治療を終えて病院を後にしたとき、誰もが「生還」の喜びと安心感に包まれることだろう。

だが、病気を「治す」と、苦しさや辛さから解放されることはイコールではない。「真に恐れるべきは、病の後」——体験者は口々に言う。

**恐怖で4時間しか寝られない がん**

胃がんの手術に成功したHさん（55）が、長年勤めた会社を辞めたのは、食事の摂り方の変化を周囲に納得してもらえなかったからだった。

「体調は悪くありませんでした。ただ、胃を切除したので、一度に『一人前の食事』を摂ることができなくなりました。そのため、私は複数回に分けて昼食を済ませていました。上司にはその旨を説明し、了解してもらっていましたが、どうにも社内の目が気になる。ほかにも、胃がんの後遺症で、ダンピング症状<sup>ダンピング</sup>があったため、結局、退職願を書きました」

ダンピング症状とは、胃

の切除後、食べ物が短時間で小腸に流れ込み、めまいや冷や汗、しびれやだるさが襲う症状をいう。健康増進クリニック院長の水上市治氏は、「がんの手術は、常に後遺症とセットだと考えなければならぬ」と警鐘を鳴らす。

「がんと宣告されると、人はパニックに陥ります。生きるために手術を選択するのは当然ですが、治すことに一所懸命になりすぎると、たとえ医師が説明しても、後遺症には頭が回らない。手術を受ける時に後遺症があると知っているかいないかで、その後の暮らしを支える覚悟や備えが変わってきます」

「病後を生きる」ために知っておくこと

医師は「死ぬよりつらい後

# 治療した 何が苦

現実には厳しい。大病に打ち克ったその先に、また別の苦しみが続いていることもあるのだ。

50代以降に急増する泌尿器がん。なかでも前立腺がんは男性のがん罹患数が1位だが、5年生存率は100%に近く、死なないがんとも言われている。だが、術後の後遺症は深刻だ。

50代初めに前立腺がんの手術を受けた、印刷会社勤務のSさん(58)には、まったく予想もしていなかった後遺症があったという。

「セックスは問題なくできる。射精時に精子は出なくなるが、勃起には影響しない。医師からはそう説明されていたのですが……」

前立腺には、射精時に誤って尿が出ないように、膀胱

と尿道を一時的に遮断するはたらきがある。そのため、がんが確認された前立腺を切除すると、精子は膀胱に流れ込んでしまう。

「いざ、その状況に直面して事の深刻さに気付きました。あらかじめ妻には話していました。その違和感が気になり、お互いにセックスを楽しめなくなりました。その後だんだん回数も減って、セックスに。それがストレスとなり、私は手術から半年も経たないうちに、勃起不全になってしまいました」

患者を医師に紹介するがん難民コーディネーターの藤野邦夫氏は、Sさんと同じ悩みを数多く耳にしていた。

予想しなかった「不便」「ストレス」。

「趣味との別れ」「家族の負担」。

「ああ、これが死ぬまで続くのか……」

「後遺症患者」たちの体験談

日本人が知らない 中国の現場に潜入労働！

「バクリ遊園地の踊り子」「京橋向きのホスト」「反日トランプの俳優」



ルポ 中国「潜入バイト」日記 西谷格

大反響発売中！ 定価 本体800円＋税 小学館

「前立腺がん手術に伴う「射精快感の喪失」は、個人の感覚差などを理由に、医者は積極的に話そうとしません。ただ、Sさんのように違和感を覚える人は多く、パートナーとのセックスだけでなく、自慰行為でも「これまでのように気持ちよくなる」と訴えます」

医師から解説される「医学的な機能の変化」と「実生活への影響」のギャップ

術後人工膀胱を受け入れた人からも多くの声が上がった。定年後の生き甲斐として、全国各地で子供たちに



病の完治がゴールではない

昔の遊びを教えるボランティアに精を出していたMさん(62)も、その一人だ。「人工膀胱をつけると、4時間おきにトイレに行き、下腹部を圧迫して溜まった尿を排出しなければなりません。医師から説明を受けたときには、4時間おきながら術前のトイレ頻度とさほど変わらないので、ボランティアだって続けられるだろうと楽観的でした」

このとき、Mさんの手術後のイメージに欠けていたのは、人工膀胱の圧迫は昼間だけではなく、夜間にも行なわなければならないことだった。

「1年365日、毎晩4時間おきに目を覚まさなければならぬのが、これほど辛いとは思っていませんでした。退院後、目覚ましの音に気づかず、ビショビショになった布団で目を覚ましたときには、愕然としました。妻からは「夜だけでもオムツをしてはどうか」と言われましたが、屈辱感もあって、そうする気にはなかなかなれません」

Mさんはオムツを拒んだ。4時間おきに起きるため、2つの目覚まし時計を使い、妻は別室で寝る。睡眠不足のため、ボランティアも辞めてしまった。

「今は失禁の恐怖で2、3

筋肉痛でさえ怖くなる 心筋梗塞

心筋梗塞をはじめとする心臓病の後遺症として知られるのが「心臓神経症」だ。これは術後、再発に怯える恐怖心によって引き起こされるもので、胸の痛みや息切れなどが主な症状となる。14年に急性心筋梗塞で入院し、大手術を受けた歌手の敏いとう氏(78)が言う。

「手術のおかげで、胸に重たいレンガが乗っているような気持ち悪さは消えたけど、その後に続いた「後遺症」には戸惑ったね。早期に突然、胸に鋭い痛みが走って目が覚めるんだ。でも、起きると、痛みは消えちゃう。夜、寝る前にも「あの痛みで目が覚めたら嫌だな」と考えてしまって、ストレスで寝入りも悪くなる」

秋津医院院長の秋津壽男氏によれば、過去に心筋梗塞を起こした人は、医者から「2度目は(命を)保証できない」と言われることが多いという。そのため、

「そうした恐怖心が肥大すると、心臓神経症になりかねません。なんでも心臓の痛みのような気がして、落ち着いた日常生活が送れなくなり、ノイローゼのような症状を呈します」(秋津氏)

妻への罪悪感に悩む日々 脳梗塞

脳梗塞の後遺症は、それが起きた脳の部位ごとに症状が異なる。左耳上の「頭頂葉」の血管が脳梗塞になった場合は、喋ったり、手を動かしたりすることに障害が残る。

頭頂葉の血管にも脳梗塞が発生したため、言語障害と右半身の手足に運動障害が発生してしまいました」

長嶋氏と同様の後遺症に苦しむTさん(45)が感じた、利き手が思うように動かないもどかしさは、まさに当人しか分かり得ない。

脳神経外科医の工藤千秋氏が解説する。「頭頂葉の脳梗塞でいえば、典型的なのは長嶋茂雄さんのケースです。長嶋さんは頭頂葉に加え、耳の奥の側

「好物のラーメンやそばをフォークで食べるのが、こんなに悲しいことだったとは思わなかった。箸を持

ち上げて嘔りたいのに、手が思うように使えないから、早く感じなくなる。ラーメン屋でいい年した大人が、「フォークをください」と頼むことに耐えられなくなつて、家でしか麺類を食べなくなりました」

しかし、それが新たな罪悪感を招いてしまった。「具や汁をそこら中にこぼして妻に気を遣わせるし、2階の書斎へ行くために階段を上る時にも毎回、妻の肩を借りるようになってしまった。パートに出かけるときは妻の笑顔は、私の世話から解放される束の間

日々の生活に様々な支障をもたらす合併症を招くのが糖尿病だ。基本的には投薬やインシュリンでコントロールできるが、合併症の一つである糖尿病腎症が進行すると、人工透析に至ることがある。

の喜びの表情なんじゃないかと思うことがあります」後頭部の内側で脳梗塞が発生したが、幸いにも一命をとりとめたKさん(61)は、手足に障害も残らず、麻痺もなかった。が、日課の散歩は諦めた。

「視野の左半分を失う『半盲』の症状が残りました。散歩に出ると、歩行者やランナーにぶつかって怒鳴られたり、自転車にぶつかりけがをしたこともある。皆さんに迷惑をかけるので、今はできるだけ外出を控えています。本日に、毎日が味気なくなりました」

泊まり旅行ができない 糖尿病

かなりのストレスを抱えることになりました」そう話すのは、にじだわたる糖尿病内科院長の西田互氏だ。

「人工透析は一回で最低でも数時間から半日拘束されることになりました。それを今後一生、毎週3日行なわなければならないので、必然的に旅行に出掛けられない

くなるなど生活に制約が生まれます。シニア世代でもフルタイムで仕事をしている方は、パートに替えるか仕事を辞める決断が必要に

日々の楽しみを奪われた 人工関節

65歳のFさんは、人工関節を入れたことを後悔しているという。

「長い間、股関節に痛みを感じていたので、50代前半で人工関節を入れました。当初は快調でしたが、今となれば医師の『人工関節は、体形の変化に弱い』という言葉をもっと具体的に想像しておくべきでした」

なるケースがある。これまでの生活に大きな変化を強いられることで、人によっては精神的にかなりきつく感じるようです」

皿。体重が増えたり、筋力が衰えるとソケットと受け皿への負担が増し、摩擦が進みます。摩擦が進むと、金属と金属が直接あたつて、痛みを感じるようになりま

手術時、サラリーマンだったFさんの体重は、70キロ。平均体重よりも、やや重かったが、現在の体重は90キロ。身体のパランスが崩れ、股関節の激しい痛みで、歩行器なしではトイレに行けないこともある。

「人工関節は、人間の骨と同じように少しずつ摩擦していきま

「今は食べるのが、私の数少ない楽しみなんです。たしかに太りましたが、血糖値などの数値はほとんど問題なく、内科医から食事制限を求められてもいない。今から人工関節を入れ直すには大手術が必要で、体への負担が大き過ぎます」

について事前に知っておくこと」の重要性を強調する。「治療や手術が患者にとつて必要な手段であることは言うまでもありません。ただし、そこにリスクや後遺症が潜んでいることを忘れてはなりません。手術や治療による病状回復のメリットよりも、その後の日常生活において不便や不都合が大きいことが分かって後悔しても、後の祭りです。

医師は一般論としての後遺症は語る事ができません、それが個々の患者にどのような影響を及ぼすかまでは教えてくれません。だからこそ、後遺症による生活への影響について担当医に聞いたうえで、自らのライフスタイルや住環境に当てはめて考えることが必要です」

病気が治っても、その後の人生がバラ色とは限らない。ライフスタイルは、人によって異なる。「辛い、苦しい、しんどい」も人それぞれ。「病気の後」をイメージしておくことは、後遺症と「共に生きてゆく」ために重要だ。

『週刊ポスト』次号(6月22日号)は6月11日(月)発売です